

ともに支え合うまちプラン

第2期日野市地域福祉計画 (概要版)

平成22年度から平成26年度

日野市では、平成17年10月に「ともに支え合い 安全に安心して暮らせるまち 日野」をめざし、「誰もがその人らしく生きることができ 一人ひとりが地域を支え 地域が一人ひとりを支える」という理念のもと「日野市地域福祉総合計画(ともに支え合うまちプラン)」(以下、「第1期計画」という。)を策定し、地域福祉の推進に努めてきました。

一方、第1期計画策定後これまでの間、「介護保険法」の改正、「障害者自立支援法」の施行、医療制度改革、「新待機ゼロ作戦」の策定など、保健福祉分野における制度や社会情勢も大きく変化してきています。

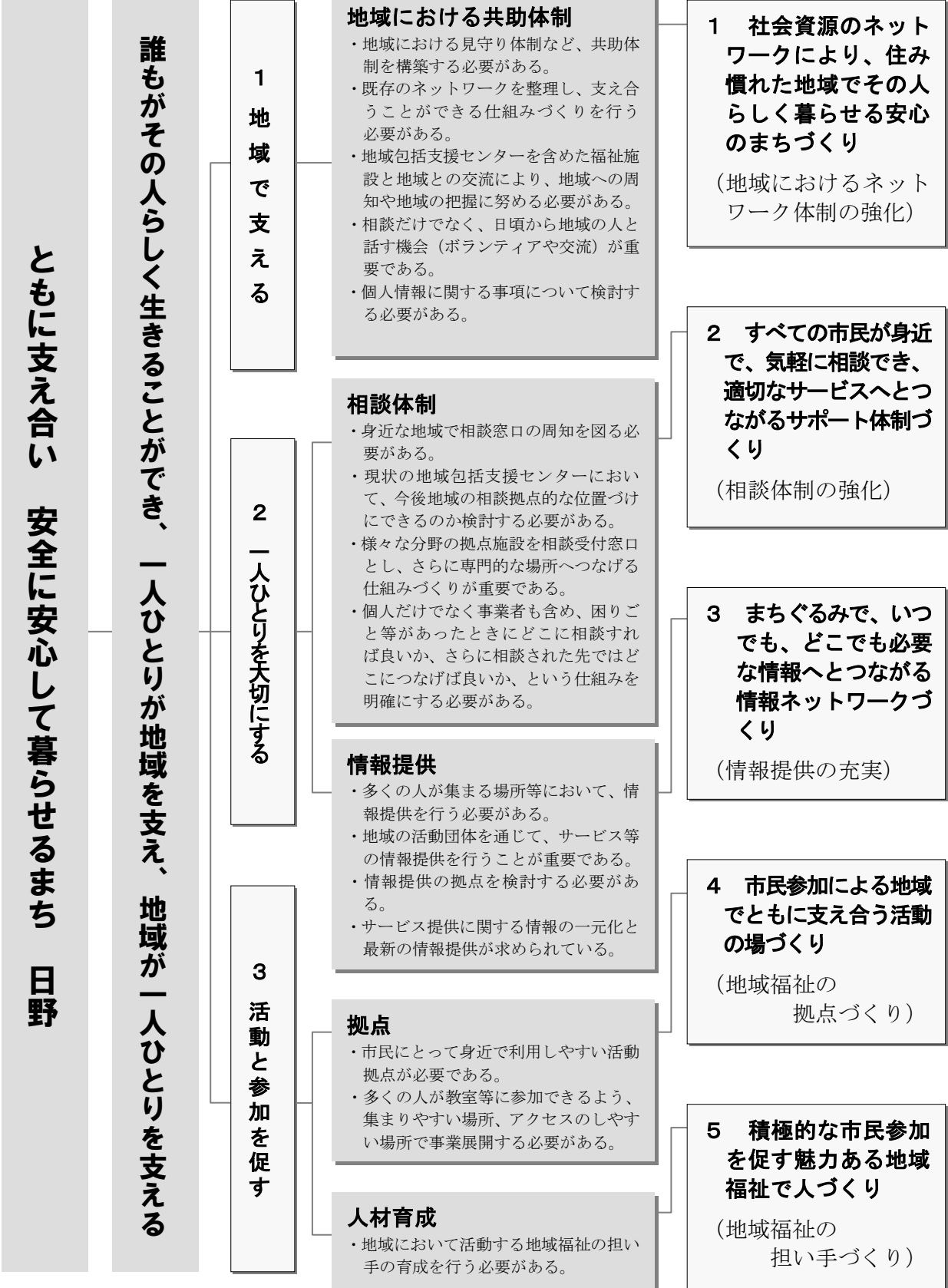
このような状況を踏まえ、「ともに支え合い 安全に安心して暮らせるまち 日野」の実現に向け、第1期計画の成果を引継ぎ発展させながら、具体的かつ実現性の高い計画として「第2期計画」(以下、「本計画」という。)を策定するものです。

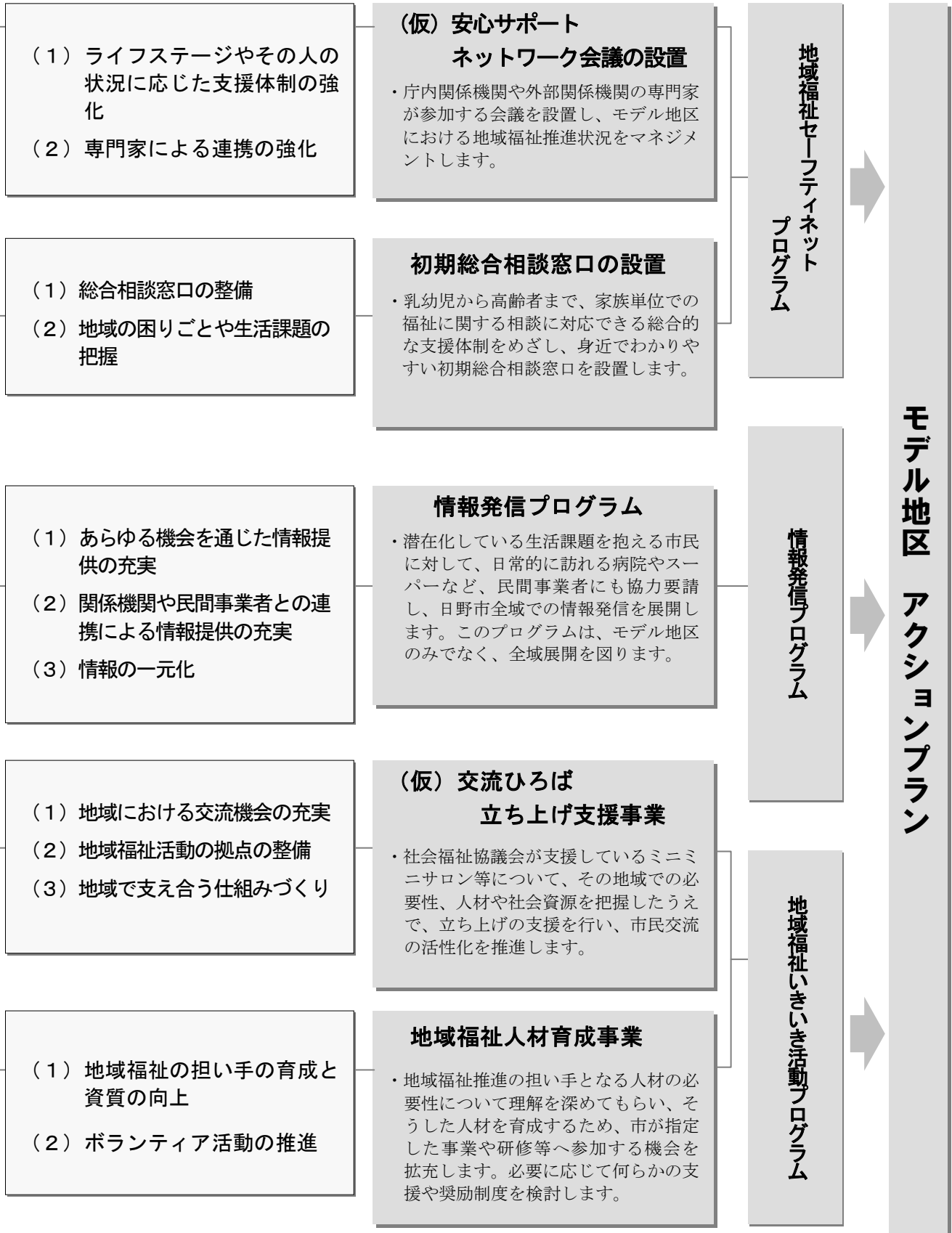
第2期日野市地域福祉計画の考え方

- ① **横断性**
地域の視点から保健・福祉施策を横断的に取り組む計画です。
- ② **役割の明確化**
地域福祉計画の役割を明確にした計画です。
- ③ **アクションプラン**
自助・共助・公助により地域福祉を推進するための計画です。
- ④ **地域力の活用**
日野の地域力を最大限活かした計画です。
- ⑤ **市民参画**
策定、実施、評価への市民参画を求める計画です。

施策の体系

まちのすがた 基本理念 視点 課題 基本目標





プランの内容

基本目標 1

社会資源のネットワークにより、住み慣れた地域でその人らしく暮らせる安心のまちづくり

行政をはじめ、地域で活躍している福祉に携わる専門家同士の連携を強化します。また、乳幼児から高齢者まですべてのライフステージにおいて、多様化、複合化、複雑化する支援ケースに対してさまざま立場から対応できる仕組みを構築します。

基本目標 2

すべての市民が身近で、気軽に相談でき、適切なサービスへとつながるサポート体制づくり

すべての市民を対象としたワンストップサービスや総合的な支援機能をもつ初期総合相談窓口を身近な地域に整備します。

基本目標 3

まちぐるみで、いつでも、どこでも必要な情報へとつながる情報ネットワークづくり

新たな展開として広報誌などの紙媒体による情報提供は継続しつつ、病院やスーパーなど民間事業者にも情報発信の協力要請をするとともに、ホームページなどを活用した情報発信により、誰もがいつでもどこでも必要な情報の収集と選択が可能となるよう、日野市全域での情報発信の機会を拡大します。

基本目標 4

市民参加による地域でともに支えあう活動の場づくり

各地域の様々な世代が交流し、特に閉じこもりぎみの高齢者や障害のある人も安心して集うことができる交流の場の立ち上げ支援を行います。

基本目標 5

積極的な市民参加を促す魅力ある地域福祉で人づくり

福祉に関する勉強会や体験学習など魅力ある内容を備えた人材育成プログラムを展開するなど、ボランティアへの参加促進や技術力の向上に対する意識を高めるための人材育成システムを構築します。

アクションプラン

アクションプランの基本的な考え方

アクションプランでは、モデル地区を選定し、5つの課題に対する具体的な取り組みを段階的に展開することにより、その有効性や問題点などについて、市内全域に展開するため必要となる検証を行います。

モデル地区の選定

モデル地区の選定にあたっては、日野市の地域福祉における重点課題が顕在化している地区を抽出するとともに、すでに地域福祉活動を積極的に展開している地区や地域福祉の活動拠点の位置づけが明確な地区を選定します。

【選定基準】

- ①高齢化率が著しく高い地区
- ②子育て世帯が多い地区
- ③ふれあいサロン、ミニミニふれあいサロンなどの活動がある地区
- ④活動の場として既存の施設が見込める地区
- ⑤地域福祉のキーパーソンとなる人材がいる地区

アクションプランスケジュール

内 容	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
モデル地区での実施・検証					
全市展開の検討・実施					

モデル地区アクションプラン

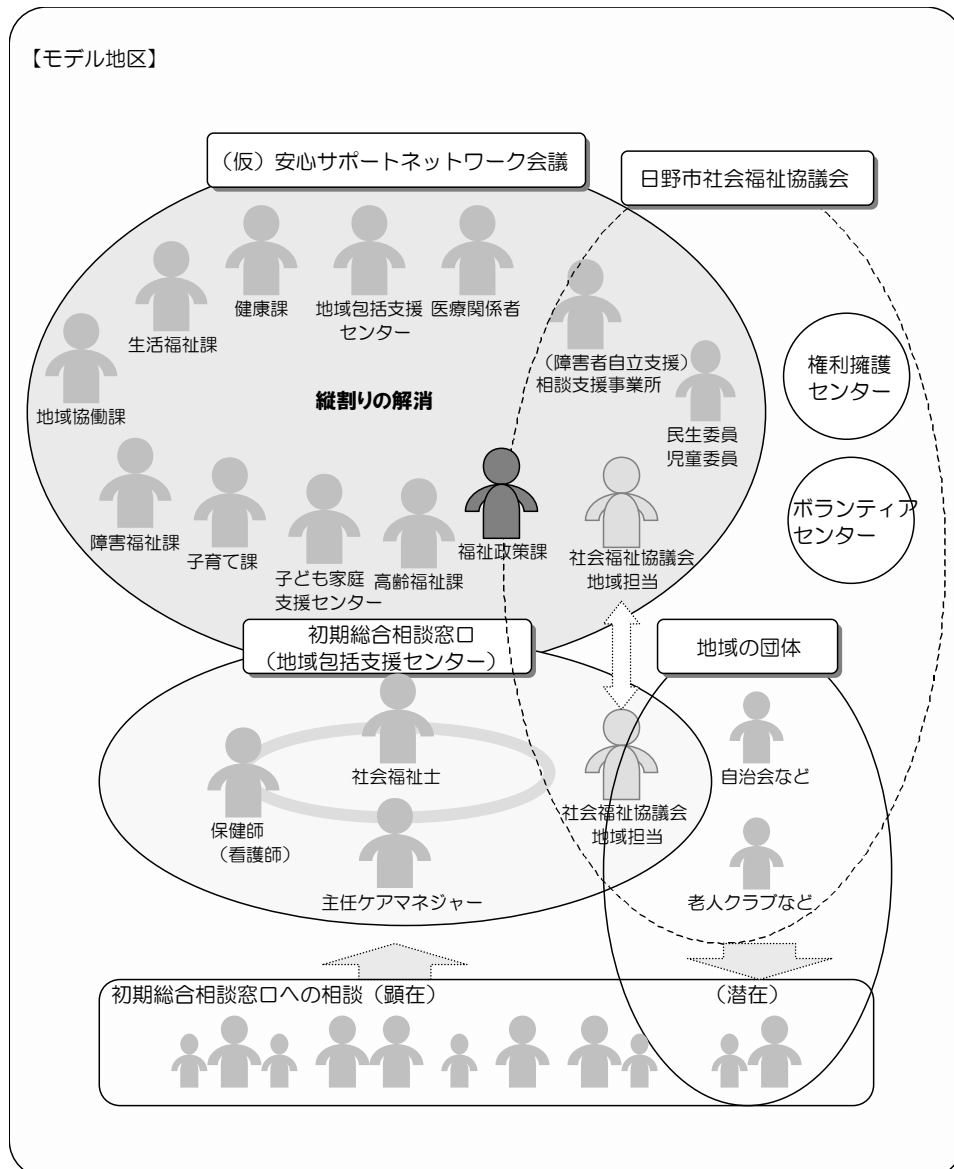
(1) 地域福祉セーフティネットプログラム

① 「初期総合相談窓口」

地域の中で誰もが安心して暮らせるよう、既存の地域包括支援センターに福祉の初期総合相談窓口を構築し、あらゆる市民にとって身近でわかりやすい相談窓口としての機能強化を図ります。

② 「(仮) 安心サポートネットワーク会議」

地域において、それぞれの分野で活躍する福祉の専門家の横の連携を強化することにより、地域で起きている様々な生活課題に対する解決策を探り、適切なサービスへとつなげ、市民に安心を提供します。



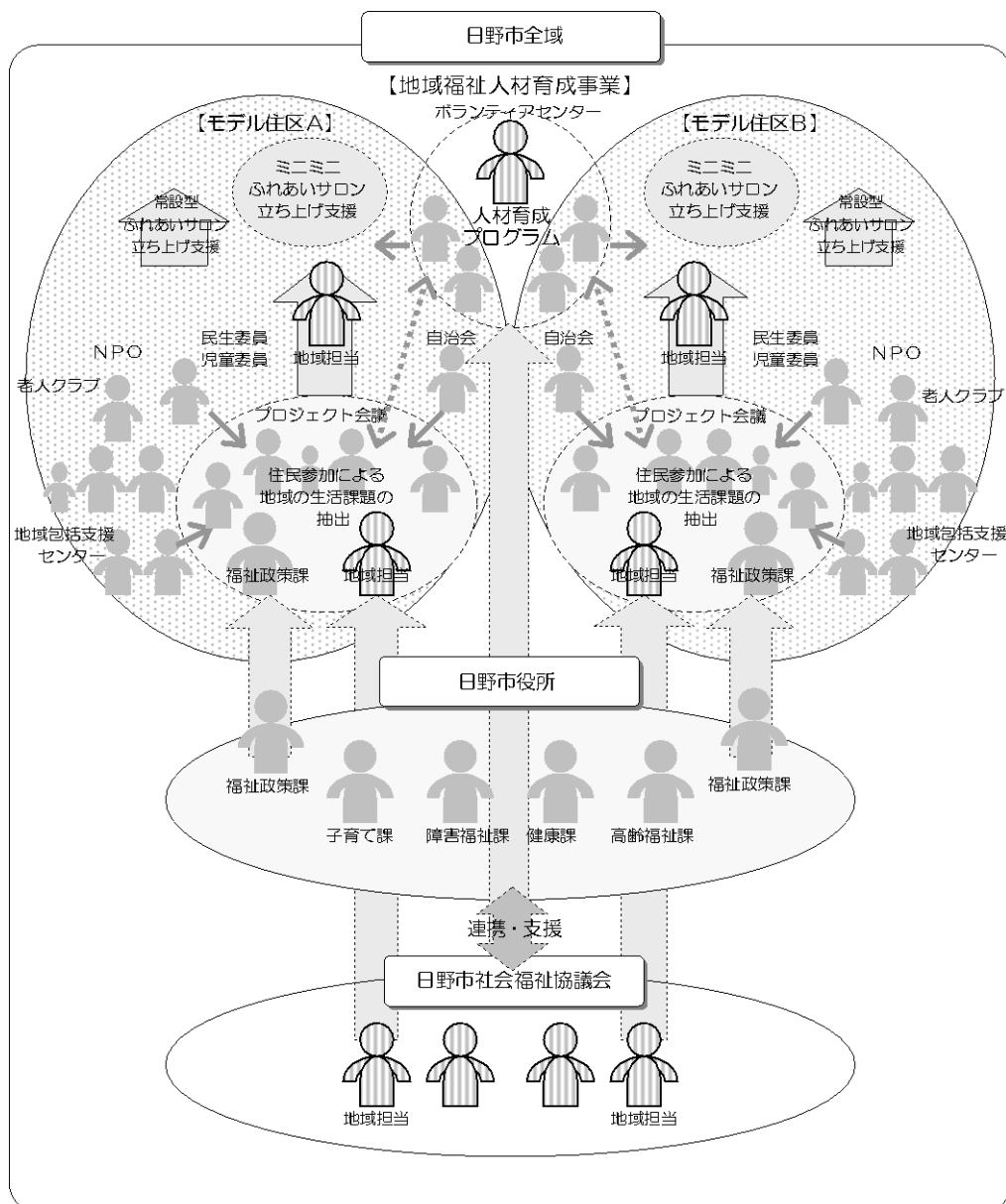
(2) 地域福祉いきいき活動プログラム

① 「(仮) 交流ひろば立ち上げ支援事業」

地域の中で顔が見える関係づくりは安全、安心な暮らしへの第一歩です。そこでそのひとつとして、(仮) 交流ひろばを立ち上げる支援を行っていきます。

② 「地域福祉人材育成事業」

地域福祉の推進は、人が基盤であり財産でもあります。また、地域の中でともに支え合い、誰もがいきいきと活躍できる場が求められています。そこで、市が実施する研修会や講演会、社会福祉協議会のボランティアセンターによる人材育成プログラムなどに加え、ミニミニふれあいサロンや(仮) 交流ひろば活動等への参加を通じ、地域福祉推進の担い手となりうる経験を培うことができるような、実践的な人材育成プログラムを構築します。



(3) 情報発信プログラム

より多くの市民に向けた情報発信、情報提供は重要なことですが、大量の情報をやみくもに発信するだけでは、市民は混乱するばかりです。そこで、市民にとって有用な情報や知っておいてもらいたい情報を、地域包括支援センターや新たに設置する「初期総合相談窓口」に集約し、情報発信基地として位置づけます。

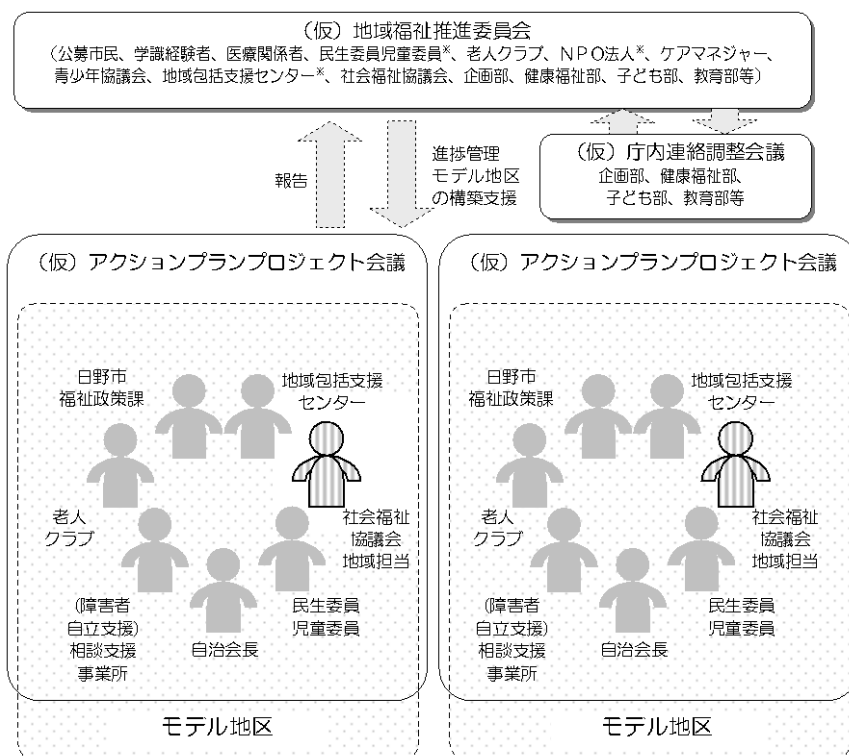
そのうえで、地域包括支援センターや「初期総合相談窓口」そのものの認知度を高めるため、市民が日常的に訪れる福祉・保健施設や病院、スーパーなどに、それぞれのパンフレットやチラシを設置し、迅速でわかりやすい情報アクセスを確保します。

推 進 体 制

本計画は、福祉政策課をはじめとした幅広い分野にわたる関係機関や市民の有機的な連携や緊密な調整を行い、アクションプランに取り組みます。

地域福祉セーフティネットプログラム、地域福祉いきいき活動プログラム、情報発信プログラムの実施に向け、地域の状況に応じた関係団体で構成した（仮）アクションプランプロジェクト会議をモデル地区に設置し、アクションプランを推進していきます。

また、市や関係機関と市民代表で構成する「（仮）地域福祉推進委員会」と「（仮）庁内連絡調整会議」により、地域福祉計画の進捗管理とモデル地区におけるアクションプランの実現に向けた支援検証を行います。



191-8686 日野市役所健康福祉部福祉政策課
 電話 042-585-1111 (代) FAX 042-583-4198 メール fukusei@hino.city.lg.jp